

平成16年 台風第23号災害記録誌

# 思いやりの心 助け合う力

台風第23号による災害 その復旧までの記録





# はじめに

平成16年10月20日から21日にかけて、京都府を通過した台風第23号は、京都府北中部の各地で総雨量が300mmを超えるなど、府内では昭和28年の台風第13号以来の記録的な豪雨となり、21市町で河川のはん濫や土砂災害が発生し、死傷者、家屋の損壊など大きな被害をもたらしました。

この台風は人々の暮らしに大きな影響を与えましたが、府民のみなさんをはじめボランティア、自衛隊、消防、警察、行政の協力によりやく復旧することができました。

この冊子はみんなが災害の恐ろしさや助け合う心と力の大切さを学び伝えていってもらえるよう、台風第23号災害の発生から復旧までの様子を取りまとめたものです。

平成20年3月

平成16年の台風第23号は、各地で大きな被害をもたらしたんだよ。

うわぁっ  
大変!!



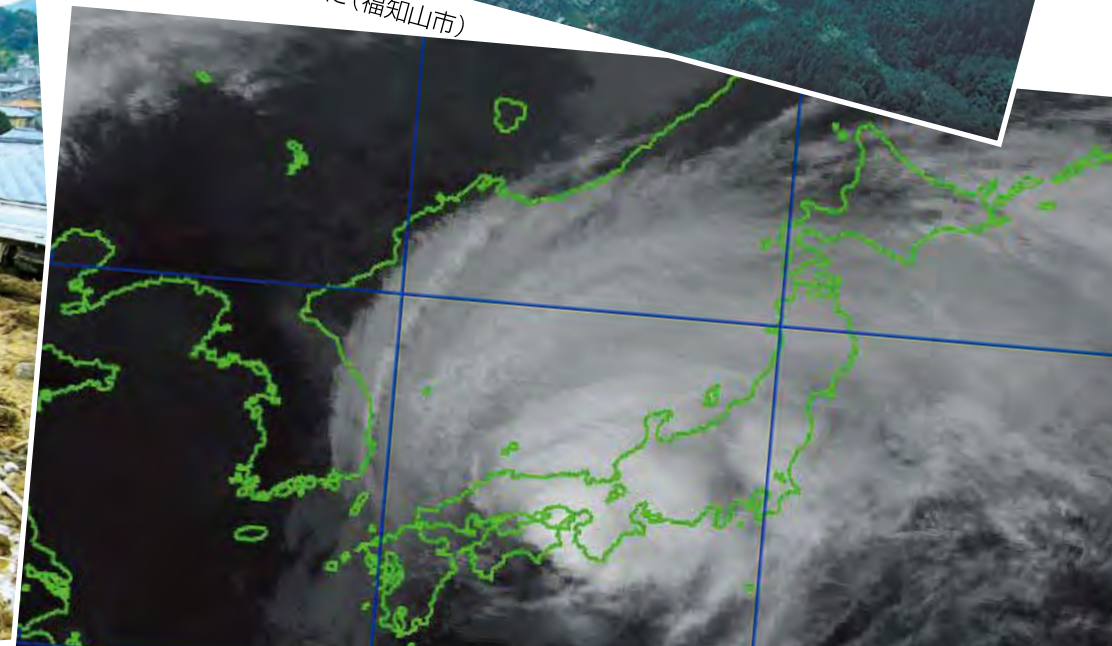
みんなで力を合わせた復旧作業(宮津市)



由良川のはん濫であたり一面は湖のように(福知山市)



土石流によって押しつぶされた家屋(宮津市滝馬)



日本を縦断した台風第23号(気象衛星ひまわり 平成16年10月20日16時) 京都地方気象台提供



道路も一面水びたしに(舞鶴市丸田)

目次	・はじめに	02	・私たちが体験した台風第23号	24
	・こんなにすごかった台風第23号の被害	04	・新聞が伝えた台風第23号	26
	・「生きる力」で励まし合い	10	・台風の経路と大雨の状況	27
	・復旧までの道のり		・京都府内の過去の水害	28
	①復旧を支えたみんなの力	12	・防災ハザードマップって知ってる?	29
	②河川の復旧	16	・自分たちで守る安全	30
	③土砂災害の復旧	18	地域で取り組む安心	
	④道路・交通網の復旧	20		
	⑤まち・産業の復旧	22		



# こんなにすごかった台風第23号の被害

京都府の北中部に大きなつめあとを残した台風第23号。  
当時の被害の様子を振り返ってみましょう。

各地で大きな被害があったんだよ



## 京丹後市

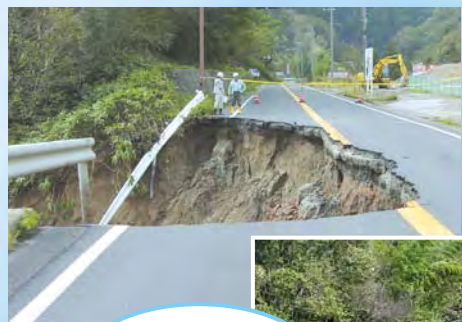
市内のあちこちで河川がはん濫して、家屋や田畑が浸水しました。がけ崩れなどで家屋の全壊(※)や、道路の寸断、また、市内全域で強風により屋根が吹き飛ばされる被害もありました。



がけ崩れで全壊した家屋(京丹後市弥栄町)



竹野川のはん濫で浸水した田畑(京丹後市丹後町)



車が土砂で流されてる



寸断された国道178号(京丹後市久美浜町)

### キーワード

- 【全壊】** 強風などにより建物としての形をほとんどとどめない様子
- 【半壊】** 半分程度壊れている様子
- 【一部損壊】** なんとか住むことはできるが、一部壊れている様子
- 【床上浸水】** 家屋の1階の床以上に水がつく状態
- 【床下浸水】** 床上浸水にいたらないが、もう少しで床に水がつく状態

## 宮津市

市街地を流れる大手川がはん濫し、宮津小学校や市役所の浸水のほか、住宅では1,585戸が床上浸水(※)、900戸が床下浸水(※)の被害となりました。滝馬地区では大規模な土石流が発生して家屋が土砂で押しつぶされ、市内全体では4名の尊い命が失われました。日本三景で知られる天橋立では松の大木が強風で193本も倒れました。



はん濫した大手川(宮津市)



土石流にうずもれた家や車(宮津市滝馬)



宮津市役所前

### ● 松の木の再利用 ●

天橋立は、宮島(広島県)、松島(宮城県)と並び日本三景として知られる景勝地です。台風で倒れた松の木は、「天橋立名松リバーズ実行委員会」によりベンチなどに再利用されました。



松並木がきれいな天橋立

台風で倒れた木で作られたベンチ。たくさんの人に利用されています



根元から折れた天橋立の松の大木(天橋立公園地内)

すごい風だったんだね





# まいづるし 舞鶴市

由良川のはん濫で道路や田畑が浸水して一面湖のようになり、国道175号では立ち往生したバスが水没し、乗客がバスの屋根の上に取り残されました。下見谷地区などでは土砂災害も発生し、33地区が孤立しました。舞鶴海洋気象台では20日午後8時27分に、**最大瞬間風速(※)51.9m/秒**という観測史上最大の風を観測しました。



# ふくちやまし 福知山市

20日午後2時から午後9時まで、時間雨量が20mmを超える雨を記録し、市街地でも多くの場所で浸水被害が発生しました。特に、旧大江町、旧夜久野町地域では被害が大きく、由良川の下流部に位置する旧大江町では町の4分の1以上の家屋が1m以上の浸水被害を受けました。



住民をボートで救助する自衛隊(舞鶴市加佐地区の由良川)



電線にひっかかったゴミや草(舞鶴市八田)

こんなところまで水がきたんだね



一夜明けた旧大江町役場(現在の福知山市役所大江支所)付近の浸水



大規模なかけ崩れ(舞鶴市下漆原)



道路が寸断され、集落が孤立(舞鶴市小俣)



水没した自動車(旧中丹広域農道 福知山市) 両丹日日新聞社提供



役場の中へも水が流れこんだ(旧大江町)

## キーワード

**【最大瞬間風速】** 風はいつも同じ速さで吹いているものではありません。ある瞬間の風の速さを「瞬間風速」といい、その最も大きな値を「最大瞬間風速」といいます。



## 〈旧大江町役場の方にお聞きしました〉

旧大江町は町の90%が停電になりました。役場の災害対策本部では無線で対応していたんだけど、役場も浸水して、その無線も使えなくなって、大変苦労されたそうです。





# 伊根町

海沿いの舟小屋の屋根が風にあおられ吹き飛び、雨と海水が家に入ってきて家具やたたみが使えなくなりました。畑などでは、ビニールハウスが暴風により被害を受け、また、家の窓ガラスが割れる被害も発生しました。

強風で屋根があおられ、倒壊した舟小屋(伊根町蒲入)



洪水や土石流だけでなく、暴風による被害もあちこちであったんだね



屋根が吹き飛び、雨風を防ぐために、ブルーシートで応急対応する住宅(伊根町蒲入)



# 綾部市

由良川の水位が急激にあがり、道路には水があふれ、川の堤防がくずれるなどの被害が発生し、20数年ぶりに避難勧告が出され、学校や公民館などにたくさんの住民が避難しました。



道路の浸水で放置された車(綾部市高津町)



道路が崩れた安場川(綾部市上延町)



# 南丹地域

旧瑞穂町、旧丹波町、旧日吉町で被害が大きく、土砂くずれや河川のはん濫で道路が通行止めになった地域もたくさんありました。



護岸が崩れた高屋川(旧丹波町)



かけ崩れで通行できなくなった府道綾部宮島線(旧美山町)



木住川の洪水で土地がえぐられた住宅(旧日吉町)

# 与謝野町

野田川の洪水で堤防が崩れ周囲の人家が浸水しました。泥水は丹後ちりめんの工場や農地にも大きな被害をもたらしました。



泥水は住宅地にも流れ込みました



堤防が壊れた野田川では、約75haが浸水



# 「生きる力」で励まし合い

台風が近づくとつれて京都府北中部でも記録的な大雨となり、由良川の水位が上がりはじめ、由良川沿いの道路にも水があふれだしてしましました。

福井県から旅行帰りだった小島さんたちを乗せた観光バスは、舞鶴市の国道175号で由良川のはん濫で道路が浸水し、前に進めなくなったのです。前も後ろも車があり、みんな立ち往生して、どうすることもできないまま、川の水がどんどん増え、とうとうバスの中にも水が入ってきたそうです。



バスの乗客のみなさんにお話を聞きました

## 点滅する明かりが希望の光

道路に水があふれてバスが動けなくなりました。水の量は増える一方。「バスの屋根に避難するしかない」と、カーテンを細長く裂いてロープ代わりにし、みんなで協力して避難を始め、全員がバスの屋根の上に避難してからは、輪になって励まし合いました。

それでもまだ水は増える一方で、バスの屋根の上でひざの上まで水位が上がってきたのです。緊張と疲労の中、体を寄せ合い元気を出すために歌を歌いながら夜を過ごしました。暗闇で海鳴りのような音が聞こえる激流の中、バスが大きくゆれるたびに不安が広がりました。長く苦しい時間が過ぎ、明け方、ようやく水位が下がり始め、救助隊が見えたときはほっとして胸がいっぱいになりました。



バスの乗客(手前左から)小島唯美さん、宮崎典之さん、小林豊子さん(後列左から)守口卓三さん、西村勉さん

バスの屋根に避難した乗客を救助するヘリコプター  
▼(読売新聞社提供)



「上を向いて歩こう」歌い励まし合った10時間

## 死者66人 不明20人に

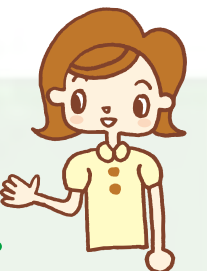
# 舞鶴でバス水没、37人救助

台風23号

過去10年 最悪の被害

▲由良川で水没したバスのことは、新聞やテレビで大きく報道されました(平成16年10月21日 毎日新聞朝刊) 毎日新聞社提供

友達がこのお話を劇にしたんだ



宮津市立由良小学校5年生のみんなは、平成19年11月、このできごとを劇にとりあげ「バスの屋根の上で」として発表しました。

みんなは、乗客の一人中島明子さんから当時の様子を聞いたり、バスが水没した場所にも行って見ました。「劇づくりを通じて、子どもたちは命の大切さ、人の絆、災害を乗り切る英知のすばらしさを学んでくれました」と校長先生は語っていただきました。



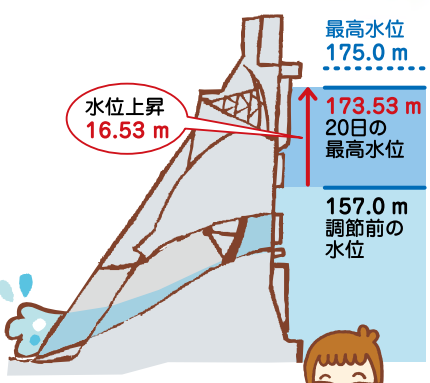
京都新聞社提供

## 大野ダムの洪水調節

由良川の上流にある大野ダムでは、上流で降った猛烈な雨でダム湖の水位が上昇し、数時間後にはダムに貯められる最高水位を超えることが予想されました。しかし、下流でバスが孤立していることがわかったため人命を最優先に考え、関係機関と連携し、限界ぎりぎりまで洪水をダムに貯めて、放流量を抑えるという調節を行いました。



洪水を貯めた大野ダム



洪水をぎりぎりまで貯めました。





## ① 復旧を支えたみんなの力

洪水が流れ込んだまちは、道路や家の中に土砂が入り込んだり、水道が使えなかったりして、普段の暮らしができなくなりました。一日も早く元の暮らしに戻れるよう、住民とたくさんのボランティアの人たちが協力して復旧作業を進めました。



洪水で流れ込んだ泥のかき出し作業(宮津市)



田畑に流れ込んだ石や草木の  
取り除き作業(舞鶴市西方寺地区)

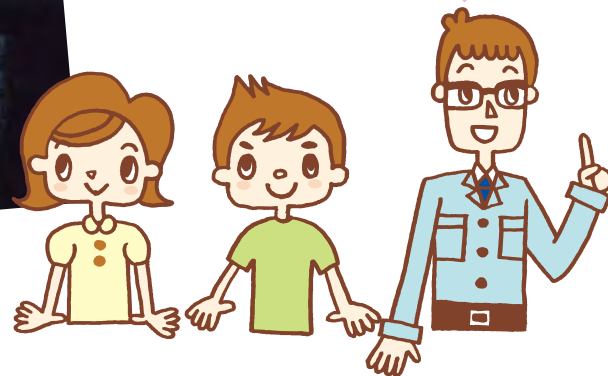


心のコもった炊き出し



陸上自衛隊による給水活動(舞鶴市倉梯町)

府内からだけでなく、近隣府県からも延べ1万2,000人以上が応援にかけつけて、みんなが復旧を願って汗を流したんだね。



どろ泥まみれのたたみを懸命に運び出す人たち



京都駅前からボランティアをのせたバスが出発  
(京都府社会福祉協議会提供)



テントを建ててボランティアの受付を開始

### 高校生の参加で町に元気が

大江町社会福祉協議会(現・福知山市社会福祉協議会) 早川 貴子さん

ボランティアセンターを被災後すぐに立ち上げました。社会福祉協議会の全国的なネットワークを利用してボランティアを募集し、また地域には有線放送やチラシを使ってお知らせしました。ボランティアと派遣先との橋渡しや案内役に地域の人が協力してくれたことが大きな助けとなりました。日ごろから地域の人とつながりがあると、緊急時に力になることを知りました。地元の高校生も積極的にかたづけに参加してくれ、その姿をとおして多くの人が元気をもらいましたね。



復旧作業に参加した  
地元の大江高校の生徒たち  
(福知山市大江町)  
大江高等学校提供





# ① 復旧を支えたみんなの力



耳成南小学校(奈良県橿原市)の児童会から届いた励ましのはがき(舞鶴市加佐分室)



全国から寄せられた支援物資には温かい心も添えられていました(舞鶴市)



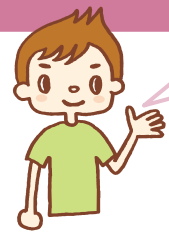
## ボランティアの方にもらった勇気とあたたかさ

岡田保育園 大石 敦子さん

台風が去って、保育園の様子を見に来ましたが、建物全体が泥まみれ。絶望的な気持ちで、園庭に物を運び出すことから片付け始めましたが、ふと気がつけば、どんどんボランティアの方の数がふくれ上がり、100人の方が2日間懸命に作業していただきました。落ち込みがちになる私たちの気持ちを跳ね飛ばすような勇気と温かさをボランティアの方々からいただきました。2週間後、保育が再開できたときは言葉にできないくらいうれしかったです。



机やピアノも泥だらけになった岡田保育園(舞鶴市)



全力で救出・救助にあたってくれました

地元消防本部、消防団をはじめ、京都府警、自衛隊、海上保安本部など、多くのみなさんが協力して全力で救出・救助活動を行ないました。

お話を聞いてきました



## 人命救助、給水支援などに活躍

～陸上自衛隊 福知山駐屯地第七普通科連隊～



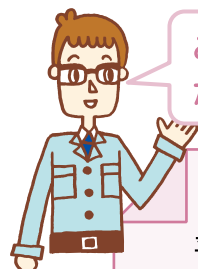
当時宮津市連絡幹部・大津町作業担当 宇高 政彦さん  
当時警備幹部防災担当 伊藤 豊さん  
当時広報室 塩崎 博文さん



孤立した地域へ生活物資を運ぶヘリコプター

増水したところはボートで救助に

20日午後8時55分、宮津市滝馬地区での土砂災害への人命救助ということで40名が出動。警察に先導してもらい、京都縦貫自動車道から宮津市内に向かったのですが、道路が浸水していて前進できない。水が引くまで待機し、ようやく午前1時ごろ現地に到着して救出活動を行いました。また河川では水没した車の中に閉じ込められていた人をボートで救出するなど地域をくまなく探し、人命救助にあたりました。翌日夕方には宮津市、舞鶴市、旧大江町の各地の復旧、給水支援、ヘリコプターによる食糧物資輸送を行いました。この間、人命救助と給水支援等に携わった自衛官は延べ435名、305tを給水。道路復旧に携わったのは延べ455名です。89名の人命を救助しました。



みんなで助け合う大切さ。少しずつ、だけど着実に広がりを見せているよ

被災地域への派遣や受入などの調整をしたり、活動を希望する方に情報を提供したりするんだって

## ●災害ボランティアセンター●

平成16年の台風第23号災害をきっかけとして、翌17年5月、京都府など21の団体と、民間の方々などが協力し、スムーズにボランティア活動が行われるよう「京都府災害ボランティアセンター」が設置されました。



現地災害ボランティアセンターの設置訓練

## コラム 自主防災ネットワーク〈進む地域のネットワークづくり〉

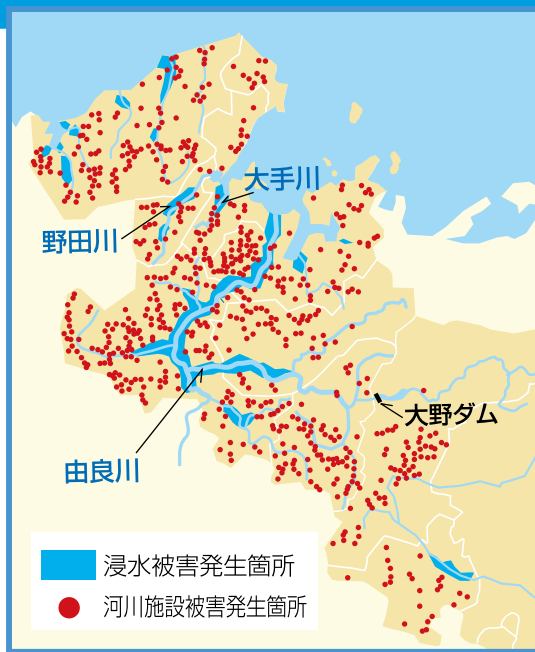
福知山市では、平成18年9月に災害ボランティアに参加するいろんな団体がネットワーク連絡会を発足し、災害時の活動の連携や日頃から高齢者などへの見守り活動にも取り組んでいます。また、綾部市では、平成20年2月、地域住民の自治会で作る自主防災組織と、自主防災組織ができていない自治会を相互に結ぶ「ネットワーク会議」がスタートし、地域の人達が素早く助け合えるよう、災害に備える情報の共有、防災リーダーの育成、合同の防災訓練などに取り組み、行政と連携した、地域の絆を強める行動が進んでいます。



## ② 河川の復旧

府北中部で最も大きな河川である由良川をはじめ、大手川や野田川など各地の河川がはん濫し、たくさんの家屋や道路、田畑が水につかりました。

府内で堤防や護岸の被害は1,900か所におよびましたが、すべての河川で復旧工事が終わりました。



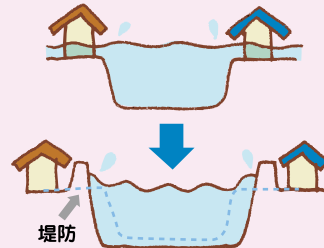
主な河川の被害  
浸水面積  
府内 3,580ha  
(うち、由良川約2,600ha、  
大手川約170ha、  
野田川約75ha)  
堤防、護岸の被害  
府内 約1,900か所  
被害額 約250億円

### 大手川の復旧

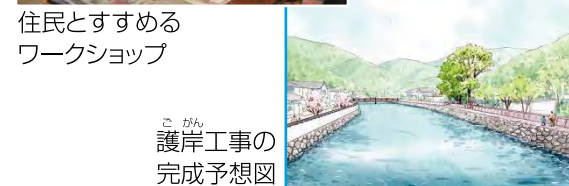
宮津市の市街地を流れる大手川がはん濫し、宮津市役所や宮津小学校が腰の高さまで水につかるなど、約2,500戸が浸水しました。大手川では、このような災害を防ぐため洪水が安全に流れるように河川改修工事を進めています。



川幅を広げたり、堤防を高くする工事で、大雨でも洪水を防げるようにしているんだ



行政と市民と一緒に勉強会を開いて「川づくり」について話し合い、宮津城跡の景観や河川環境にも配慮しながら工事を進めています。



### 野田川の復旧

野田川は、堤防が崩れ大きな浸水被害が発生し、1名の尊い命が失われました。堤防の復旧にあわせて同じくらいの洪水にもたえられる河川改修をしました。



### アユモドキのお引っ越し作戦

亀岡市でも川の底のブロックの一部が流される被害がありました。復旧工事に取りかかるときに天然記念物のアユモドキが生息していることがわかりました。京都府南丹土木事務所や亀岡市、自然保護団体で話し合い、工事前にアユモドキを引っ越しさせることにしました。魚が傷つかないように気をつけながら捕獲、見つかった場所の近くに無事引っ越ししました。河川の改修もアユモドキがすみやすいようにブロックや石にすき間を作るなどの工夫をしています。



### 被害が大きかった由良川下流部の対策



由良川位置図(下流部)

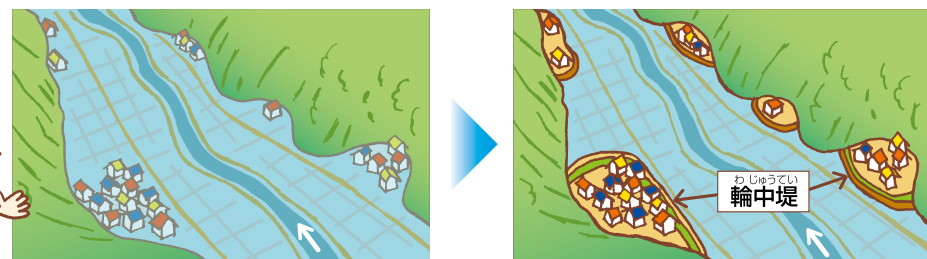
由良川のはん濫により、4市1町で約1,700戸が浸水する大きな被害を受けました。特に被害が大きかった由良川下流部では、住家を洪水から守るため緊急的に堤防の工事などを進めています。



平成16年10月台風第23号時の被害状況(福岡山市河守地区、千原・尾藤地区)

輪中堤整備が進む

早く安心して暮らせるよう工夫して対策が進められているんだね



由良川下流部では川沿いにすべて堤防をつくろうとすると非常に長い年月がかかります。このため、住宅地を囲むような堤防(輪中堤)をつくり、洪水から地域を守る工事が進められています。



### ③ 土砂災害の復旧

土石流やがけ崩れが各地で発生し、特に宮津市滝馬地区や舞鶴市下見谷地区では、流れてきた土砂や流木によって、家屋が全壊するなど大きな被害が発生しました。

#### 宮津市滝馬地区の土砂災害対策工事

滝馬地区では大規模な土石流により2名の尊い命が失われました。溪流滝馬川からの土石流をくい止めるため砂防えん堤などを9基設置しました。



土石流により荒れた溪流



土石流によって全壊した家屋



次の土石流をくい止めるため新しく作られた砂防えん堤

#### ●柿ヶ成川(宮津市喜多)

砂防えん堤が土石流から下流の人家を守りました。



砂防えん堤の上流側の様子

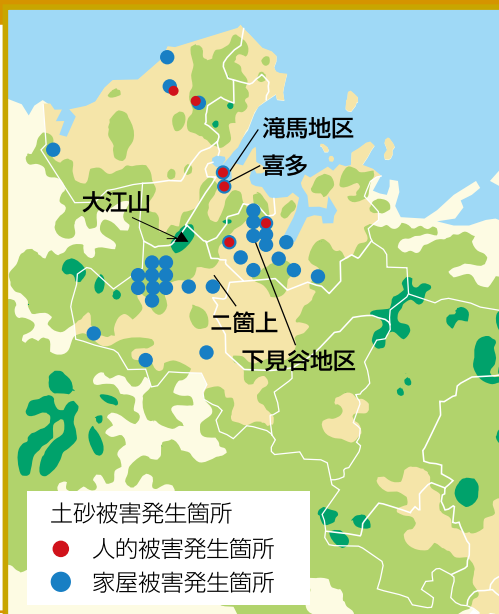


土石流をくい止め人家を守る



砂防えん堤にたまった土砂

流れてきた土石流をしっかりせき止めるのが砂防えん堤の役割だよ



#### 土砂災害の被害

	土石流	がけ崩れ
合計	23か所	12か所
うち人的被害	3か所	3か所
うち家屋被害	20か所	11か所

#### ●福知山市大江町二箇上



大雨によって崩れそうながけ



工事によって安定したがけ



住宅や道路などをがけ崩れから守る

がけ崩れが起こりそうなところを工事して、人や家を守っているんだね



#### コラム 土砂災害とは…

- ①山の溪流から水とともに大量の土や岩が流れ落ちる「土石流」
  - ②大雨等でゆるんだ地盤が、突然がけ下に崩れ落ちる「がけ崩れ」
  - ③広い範囲で山の地面が山のふもとの方にすべり落ちる「地すべり」
- によって、人や家などの財産が被害を受けることです。



①土石流



②がけ崩れ



③地すべり

土砂災害の多くは長雨や大雨が原因で起こります。1時間に20mm以上、または降り始めてから100mm以上の降水量になったら十分注意しましょう。

#### 大量の土砂に埋もれたまちにぼう然

ようやくのことで地元にとどろつき、大量の土砂に埋もれたまちを前にぼう然としました。「滝馬は安全だ」という思い込みがありましたが、



いつ2次災害がおこるかわからない状態でした。その後自主防災組織を立ち上げ、防災意識の向上と警戒体制の強化を図っています。避難訓練を通じて地域の連携も強まりました。

土砂災害を想定した防災訓練



宮津市滝馬地区自治会 松浦 登美義さん



# ④ 道路・交通網の復旧

## ● 道路災害

北中部地域を中心に、浸水、がけ崩れによる土砂や倒木、道路の崩壊など、約200か所で全面通行止めとなりました。6市町54地区が孤立し、救助・救援活動に向かう車や、府民の生活に大きな影響がでました。

### ● 国道173号の復旧



崩壊した国道173号(綾部市)



復旧工事完了



復旧中

仮復旧で片側通行が可能に



仮橋をかけて一日も早く通行ができるようにしました。引き続き本格的な復旧工事を行いました

### 道路情報板

土砂災害や浸水による通行止めなどの情報をお知らせするもの。



台風や大雨の時は、特に通行規制についての情報に注意しよう

### 道なき道を確保して

「裏山からの土砂で家が押しつぶされ、家族が閉じこめられた」と通報がありました。すぐに現場へかけつけ、人がひとり入れる程度の通路を確保しておばあさんを救出しました。病院へ向う道路が土砂や陥没により通れないことがわかり、まわり道も検討しましたが、おばあさんの健康状態を考え、陥没した道路に鉄板をわたすことにして、ぎりぎり車を前に進めることができました。救急車も途中までむかえにきてもらい、無事病院まで搬送できました。あときは地元の方と消防団の誰もが「自分のことよりまわりの人を

助ける」との思いで団結し、行動していました。

京丹後市弥栄第5分団分団長(現本部付分団長) 久江 康幸さん



## ● 鉄道災害

北中部の中心的な交通機関であるJR、北近畿タンゴ鉄道(KTR)でも、線路が土砂で埋まったり、ケーブル類の切断などの被害が発生しました。



KTR久美浜と但馬三江間の被害



一日も早い運転再開をめざした復旧工事(KTR宮村駅付近)

一刻も早い復旧をめざしてがんばってくれたんだね



北近畿タンゴ鉄道では、ポイント(※)の操作機器5基が水につかり動かなくなりました。

予備の機器だけでは足りず、「それがないと再開できない」と他の鉄道会社に応援を要請しました。24時間体制で必死に復旧作業を進めるなか翌日JRから「機器がある」との連絡が入り、5日後に無事全線、運転を再開することができました。

※ポイント…鉄道で、車両を他の線路に移すために、線路の分かれ目に設けてある装置。



北近畿タンゴ鉄道 古川 三雄さん

京都府北中部を結ぶ「北近畿タンゴ鉄道」



### ● 主な道路の被害

土砂崩れや崩壊により被害があった道路：国道・府道・市町村道あわせて約1,100か所  
被害額：約79億円  
全面通行止めとなった区間：197か所  
片側通行となった区間：52か所

### ● JRの被害

10月20日から運転見合わせ、10月30日運転再開  
山陰本線：船岡～上夜久野 運休713本  
舞鶴線：綾部～東舞鶴 運休73本  
被害額：約4億円

### ● 北近畿タンゴ鉄道(KTR)の被害

10月20日から運転見合わせ、10月25日運転再開  
宮津線：西舞鶴～豊岡 運休198本  
宮福線：宮村～下天津 運休181本  
被害額：約4.5億円



● 道路被害発生箇所



## ⑤ まち・産業の復旧

府内の市町から避難指示や避難勧告が出され、多くの人々が避難しました。電話が不通になったり、停電、断水も発生しました。電気は翌日に85%が復旧、水道も2日後には90%が復旧し、まちが元の暮らしに戻るようみんなで協力しました。



体育館に避難する住民(福知山市内記) 京都新聞社提供

今では災害があったこともあまりわからないけど、元どおりになるまでにたくさんの人々の努力があったんだね



泥をかぶって使えなくなったたたみや家具

たくさんの水や泥で使えなくなったんだね

グラウンドがゴミ置場になったんだって。新しい土を入れて使えるまでに半年かかったそうよ



学校では浸水したりグラウンドに土砂が流れ込んだりして、北中部の8割以上が大きな被害を受けました。授業の再開に数日かかった学校もあり、福知山市立北陵中学校では土砂崩れなどで校舎が使えず、近くの公民館で授業を行いました。



浸水した間人中学校の体育館(京丹後市)



家庭から出されたゴミが積み上げられた市民グラウンド

## 農林水産業・商工業の復旧

野菜、黒大豆、かぶ、なし、小豆などの農作物が被害を受け、強い風雨でビニールハウスや倉庫などが壊れたところもたくさんありました。また、漁船が転覆、破損したり、定置網が流されたりして、大きな被害がでました。

丹後地域の主な産業である織物業関係では、浸水等によって工場の機械が被害を受けました。また、天橋立などの観光地では、旅行のキャンセルや建物などにも被害がありました。

各地では、いろんな支援を受けながら、早く仕事が再開できるようにみんなで力をあわせました。



暴風にとばされたビニールハウス

強風で果物が落ちてしまったなし畑



漁港には被害を受けた船が折り重なるように

### 丹後ちりめんの織機が大打撃

旧加悦町では役場が濁流の中、孤立してしまいました。丹後ちりめんの産地であるこのあたりは軒並み織機が泥をかぶるといふ被害を受け、廃棄した機械も数多く、泥の除去をして、再操業までにたいへん時間がかかりました。



当時の加悦町長  
小西 英雄さん

泥水につかった織機の修繕



京都新聞社提供



丹後ちりめん

#### ●死傷者の数

死者	15人	重傷	14人
行方不明者	0人	軽傷	188人

#### ●避難した人の数

避難指示による	1,021世帯	2,750人
避難勧告による	1,488世帯	4,060人
自主的に避難した人	291世帯	810人

#### ●府内のライフライン被害

停電	79,222世帯	10月24日全世帯復旧
水道断水	34,282世帯	11月1日全世帯復旧
電話不通	2,439世帯	10月25日全世帯復旧

#### ●家屋の被害

全壊	26棟
半壊	328棟
一部破損	3,151棟
床上浸水	2,726棟
床下浸水	4,376棟

#### ●学校の被害

小学校	89か所
中学校	36か所
高校	36か所
被害額	約4億円





# 私たちが体験した台風第23号

台風の被害を受けて、キミたちの先輩は何を思ったか——

舞鶴市立岡田中学校でお話を聞きました。

## 協力し合うことの大切さ

舞鶴市立岡田中学校



左ページ 岩崎 綾美さん(左)、真下 美那さん(中央)、新宮 さつきさん(右)、  
右ページ 永野 聖己さん(左)、真下 大平さん(右)

### 地域全体で困難を乗り越えられた

倒木で道がふさがれて学校のあるところまで出られず、宮津へ出て日用品を調達したりしていました。道は1か月ほど通行できませんでしたが、地域の人と協力し合って生活道路をつなげました。地域全体で困難を乗り越えられたと思います。



### 日ごろのあいさつでつながる行動

まる2日間停電して、電話も通じなかった。夜の雨はすごかったけど、朝まで学校の授業があると思っていました。日ごろのあいさつは大切。あいさつしているからこそ、そのとき「あそこはおばあちゃんのひとり暮らし。様子見てくる」といった行動もとれたんだと思う。

### 家族で連絡場所や方法の確認を

床下まで浸水してきたので、電気製品などを2階へ持ってあげました。翌朝、窓から外を見ると家は、濁流に取り巻かれている。両親はともに勤めに出ているのですが、その日はふたりとも帰ってこられなかった。家族で連絡場所や方法などを確認しておくことが大切だと思います。



10月20日夕方、学校横の岡田川がはん濫し、グラウンドに水が入りました。前を通る国道175号は通行不能となり、あと3cmほどで校舎に水が入る状態でしたが、翌日昼ごろには水が引きはじめました。当時小学校6年のみなさん(現在岡田中学校3年生)にお話を聞きました。



### たくさんのボランティアの方に助けられた

国道がみるみる水没したときは「ヤバイ」と思いました。チャポンチャポンといいながら水が家の中に入ってきて、床上60cmのところまで来たときは「家が流される」と思って、すごくこわかった。ボランティアの人に助けられて、協力し合うことの大切さを学びました。



### 災害時の情報の大切さ

川の音が怖くて眠れませんでした。翌日、山の上へ水を汲みに行き、ガスコンロでご飯を炊きました。スイッチひとつでご飯が炊けるありがたさを改めて感じました。災害にあったときの情報の大切さを思い知りました。



### 当時の様子をつづった文集から

宮津市立上宮津小学校

上宮津小学校に通うみんなも台風第23号を体験し、文集「すぎやま」にその時の様子を書いています。

### 被災をきっかけに始まった交流

宮津市立宮津小学校

小学校の前の大手川がはん濫し、校舎や校庭が1.5mも水浸しになりました。木津町立相楽小学校(現木津川市)からは図書や雑巾といっしょに、温かい励ましの手紙をいただき、その発表を児童たちが行いました。以来、それぞれの修学旅行の際には学校を訪問し合うなど、新たな交流が生まれています。城陽市立寺田小学校からも励ましの手紙をもらい、児童たちはかけがえのないものを得ました。



相楽小学校からの温かい励ましについて報告する児童

宮津小学校提供



上宮津小学校提供

「うら山がぐずれたぞう。とりあえず車庫にひなん!!」。いきなり言われて、何が何だかよく分りませんでした。車庫にひなんした時、どうしたらいいのかわからないとパニックになりかけたのを、お姉ちゃんが「だいじょうぶや」と言ってくれてホッとしました。(4年 赤田詩歩さんの作文から)



午後五時、家の中にいると、「ズドドドドト」なにかが落ちる音がした。川沿いの車庫を見に行くと、車庫が跡形もなく流されていた。そして、夕ご飯の準備をしていると、とつ然、電気がすべてきれてしまった。ろうそくやライトをつけて、ごはんを食べた。(6年 落合晶也さんの作文から)





# 新聞が伝えた台風第23号

台風の被害の様子は、新聞各紙で大きくとりあげられ、報道されました。



10月21日京都新聞朝刊



10月22日毎日新聞朝刊



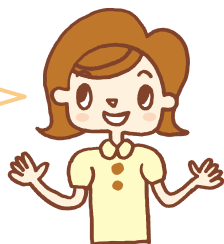
10月21日京都新聞朝刊



10月22日京都新聞朝刊

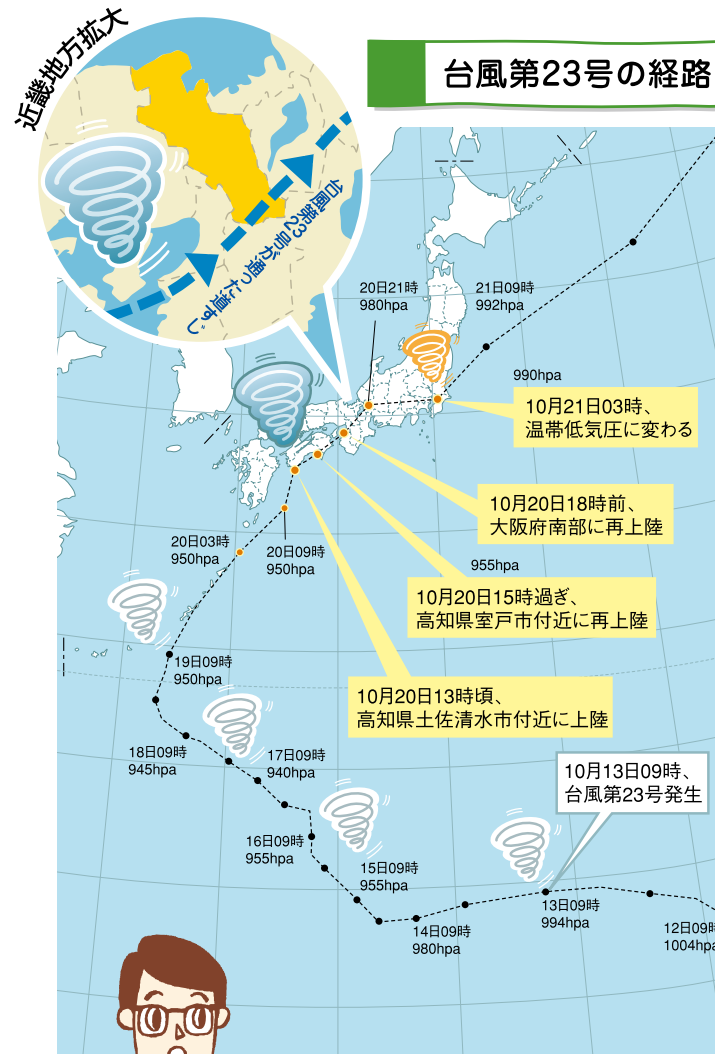
京都新聞社提供

記事などを通じて全国から支援の声や物資が多く届けられたよ

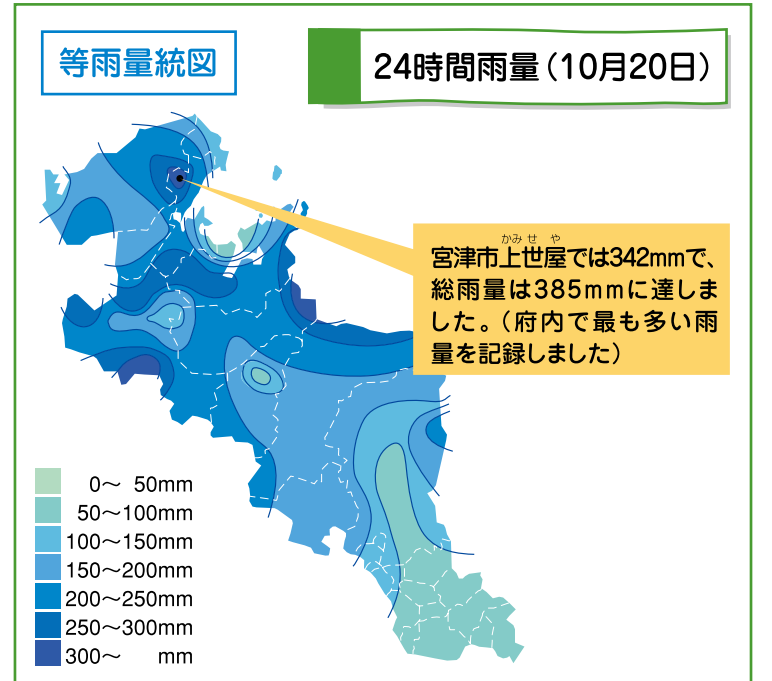


# 台風の経路と大雨の状況

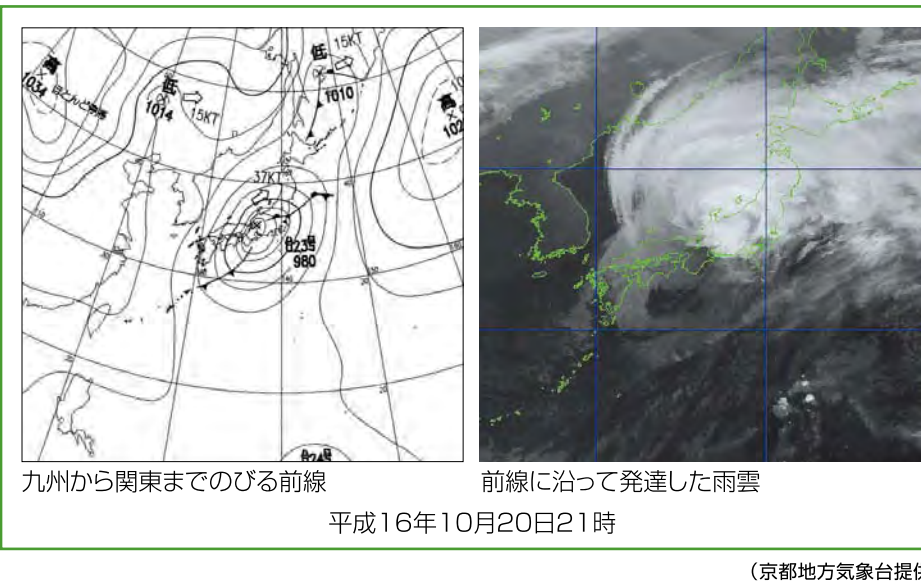
じょう きょう



平成16年の台風第23号は10月13日午前9時に太平洋のマリアナ諸島近海で発生しました。大型で強い台風に発達した台風第23号は、20日から21日にかけて、近畿から東海地方へ進み、21日午前3時ごろに関東地方で温帯低気圧に変わりました。20日には京都府全域に大雨・洪水・暴風警報が発表されました。



台風自体の風・雨の力と台風で活発化した前線により、京都府北部の降雨量が急激に増え、長時間続きました。この年はそれまでも台風の影響を受けており、河川の増水だけでなく、地盤のゆるみから土砂災害も考えられたので、いつも以上に警戒を呼びかけました。(京都府気象台)



### 📢 気象情報

台風や大雨の時には天気予報で雨の量や台風の進路などをお知らせしています。前もって行動できるように注意しておきましょう。

**【注意報】**大雨、強風、乾燥、なだれ、津波、高潮などにより被害が出るおそれがあるときに注意を呼びかける予報。

**【警報】**災害・危険がせまったことを伝えて警戒を呼びかけ、対策準備をうながす予報。避難の準備を始めましょう。

(京都府気象台提供)



# 京都府内の過去の水害

京都府では、昭和10年の鴨川大水害、昭和28年の南山城水害など、これまで各地で何度も大きな災害に見舞われてきました。

昭和26年(1951)  
7月水害  
京都市・亀岡市 / 死者・行方不明者114名 / 被害額62億円 / 平和池(亀岡市)の決壊

昭和34年(1959)  
8.13水害  
府内全域 / 死者14名 / 被害額52億円

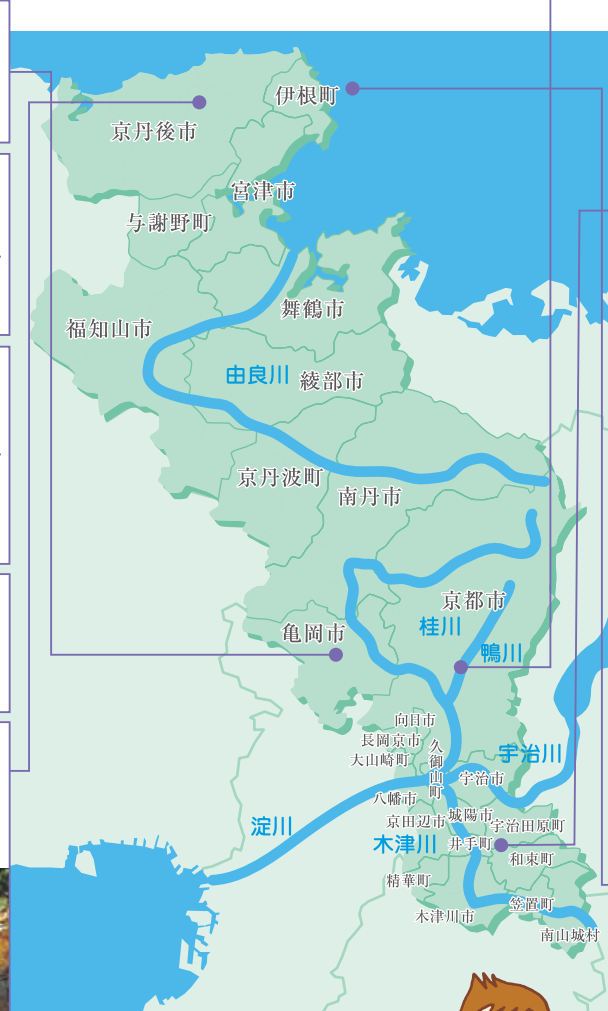
伊勢湾台風  
府内全域 / 死者9名 / 被害額83億円

昭和36年(1961)  
第2室戸台風  
府内全域 / 死者12名 / 被害額73億円

10月水害  
府内全域 / 死者・行方不明者4名 / 被害額28億円

昭和58年(1983)  
台風第10号  
府内全域 / 死者2名 / 被害額273億円 / 土師川(福知山市)のはん濫

平成18年(2006)  
梅雨前線豪雨  
中丹・丹後地域 / 死者2名 / 被害額33億円



昭和10年(1935)  
鴨川大水害  
京都市 / 死者12名 / 五条大橋など、多くの橋が流出



昭和28年(1953)  
南山城水害  
南山城地域 / 死者・行方不明者336名 / 被害額151億円 / 大正池(井手町)の決壊、天井川のはん濫



台風第13号  
府内全域 / 死者・行方不明者120名 / 被害額666億円

昭和47年(1972)  
7月豪雨  
府内全域 / 死者8名 / 被害額90億円  
台風第20号  
府内全域 / 死者・行方不明者9名 / 被害額184億円

平成16年(2004) 台風第23号  
中丹・丹後地域 / 死者15名 / 被害額約697億円

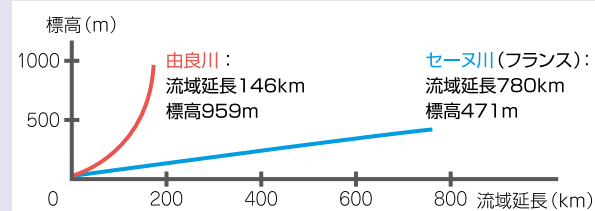
人ごとじゃないな

最近では地球温暖化の影響とも言われる集中豪雨が多くなってきているんだよ

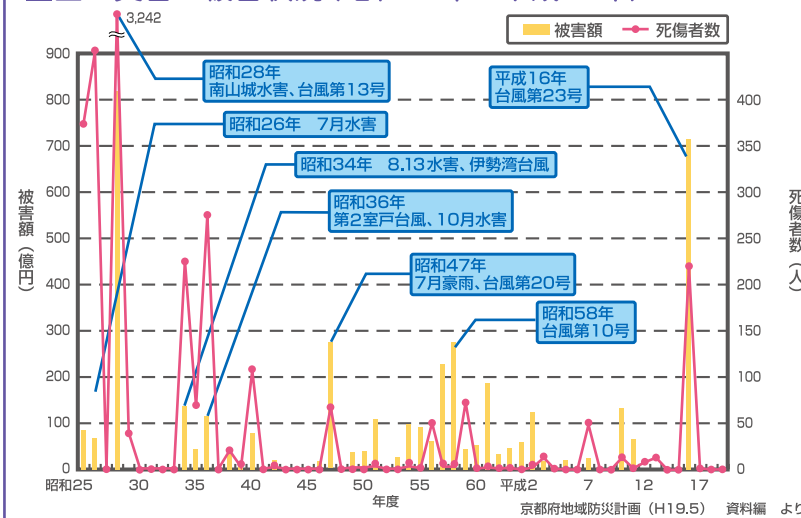
私たちのまちの近くでも起こってるね。

## ■流れが急な日本の河川

日本の河川は諸外国に比べ急勾配で、降った雨は山から海へ一気に流れます。京都府内の河川も例外ではなく、豪雨となると一気に河川を下り、平地に水があふれ出るようになります。



## ■主な災害の被害状況(昭和25年~平成17年)



# 防災ハザードマップって知ってる?

ハザードマップって、みたことあるかな



川がはん濫した時、ぼくの家がどのくらいの深さまで浸水するのか、ちゃんと知っておかないとなあ



避難所の場所などを前もって確認しておくといいな



京丹後市防災マップ(峰山町版)

## 防災ハザードマップとは…

河川が大雨で増水し、はん濫した場合の浸水想定区域や、避難所などが記されているもので、住民のみなさんに配布されるものです。

いざというとき、あわてず行動できるように日頃から家や学校などの周りの様子を知っておきましょう。

施設関連	土砂災害危険箇所
避難所	地すべり危険箇所
自主避難所	急傾斜地崩壊危険箇所(がけ崩れ)
福祉避難所	土石流危険渓流: 主流路
警察署	土石流危険渓流: 土石流による被害のおそれのある区域
消防署	
医療機関	

## キーワード

### 【避難準備】

洪水や土砂災害による被害が発生するおそれが高くなったときに発表されます。避難の準備として、テレビやラジオの情報に注意しましょう。避難に時間のかかる人はこの段階で避難しましょう。

### 【避難勧告】

被害が発生するおそれが非常に高くなってきたときに発表されます。家族や周りの人たちと声をかけ合い、注意してすみやかに避難しましょう。

### 【避難指示】

被害の発生が高くなってきたときに発表されます。すぐに避難しましょう。時間がないときは2階へ避難するなど命を守るための行動をとってください。



## 浸水の目安

5.0m	3.0~5.0m未満の区域 2階の屋根まで浸水する程度
3.0m	2.0~3.0m未満の区域 2階の床下まで浸水する程度
2.0m	1.0~2.0m未満の区域 大人の腰までつかる程度
1.0m	0.5~1.0m未満の区域
0.5m	0.5m未満の区域 大人のひざまでつかる程度





# 自分たちで守る安全 地域で取り 組む安心

台風などの大きな災害に対して、自分の命や家族を守るためには、日ごろから安全の備えが大切です。また、自分たちが住むまちや地域で協力して、防災に取り組むことが安心なまちづくりにつながります。

## 台風や大雨になったら

### 台風や自然災害についての情報を知ろう

大雨の時などは、テレビやラジオで気象情報などに注意しましょう。また、ホームページ、携帯電話や地上波デジタル放送でも詳しく紹介されています。

### 雨量について

雨の強さを表すときによく「〇〇mm以上の雨量」というふうにいいます。バケツなどを外に出して、1時間後にたまった水の深さが「〇〇mmの雨」となります。



1時間の雨量	予報用語	人への影響
10~20mm未満	やや強い雨	地面からはね返りで足元がぬれる。地面一面に水たまりができる。
20~30mm未満	強い雨	かさ傘をさしていてもぬれる。
30~50mm未満	激しい雨	道路が川のようになる。
50~80mm未満	非常に激しい雨	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)。
80mm~	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。

### 京都府ホームページ

<http://www.pref.kyoto.jp/>

### 京都府 河川防災情報

<http://chisuibousai.pref.kyoto.jp/>

### 気象庁ホームページ

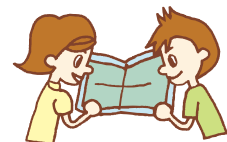
<http://www.jma.go.jp/>



## 日ごろから備える

### 災害を少しでも防ぐためにも防災意識を持とう。

- 防災ハザードマップなどで身近な危険箇所や災害時に役立つ情報を集めましょう



- 避難所、避難経路、方法を家族で話し合っておきましょう



- 非常持ち出し品の準備をしましょう



- 近所の人とコミュニケーションをとりましょう



### 防災情報メール配信サービス

登録すると気象や避難情報が自分の携帯電話に配信されます。

「anzen@k-anshin.pref.kyoto.jp」に空メールを送信



### いざというときは避難する

- 市町村からの避難情報に注意しましょう
- あわてず、落ち着いて行動しましょう
- 2人以上で、動きやすい服装で避難しましょう

大切な命を守るために、状況を見て判断しよう。



- 小さな子どもや高齢者・病気の人・体の不自由な人にはみんなで協力をして、スムーズに避難しましょう

### コラム 「避難」とは読んで字のごとく難を避けることです。

相手は自然です。予測できない急な大雨の時などは避難所へ避難するための時間が十分でない場合も考えられます。そんな時でも、難を避けるため何かできることをしましょう。

緊急的な方法としてたとえば…

- 洪水からは、建物の上の階や近所の高い場所への移動



- かけ崩れからは、がけから少しでも離れた部屋への移動

## 防災 チェックシート

### ✓ 持ち出す物

- |                                    |                                 |
|------------------------------------|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 防災ハザードマップ | <input type="checkbox"/> 非常食    |
| <input type="checkbox"/> 懐中電灯      | <input type="checkbox"/> 水      |
| <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ     | <input type="checkbox"/> 缶切り    |
| <input type="checkbox"/> 乾電池       | <input type="checkbox"/> ロープ    |
| <input type="checkbox"/> 医療品       | <input type="checkbox"/> 着替え    |
| <input type="checkbox"/> ろうそく      | <input type="checkbox"/> 下着類    |
| <input type="checkbox"/> マッチ/ライター  | <input type="checkbox"/> 現金・貴重品 |

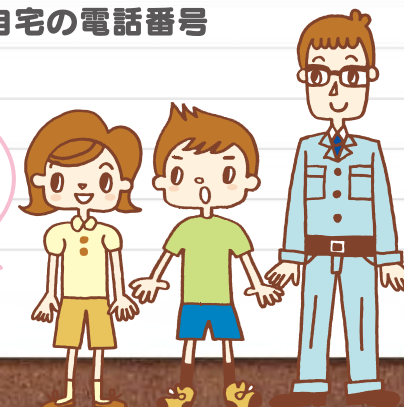
- |                                    |   |
|------------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> 貴重品の保管場所  | <input type="checkbox"/> はぐれたときの集合場所          |
| <input type="checkbox"/> 家の近くの避難場所 | <input type="checkbox"/> 家のまわりに吹き飛ばされそうなものはなか |
| <input type="checkbox"/> 避難経路      |   |

家の近くの避難所	電話番号
家族の連絡先	電話番号
いざというときの連絡先	電話番号

**災害用伝言ダイヤル** 災害時に電話がかけにくくなったときにサービスを開始します。伝言ダイヤルに無事であることを録音しておきましょう。

録音: 171-1-市外局番-自宅の電話番号  
再生: 171-2-市外局番-自宅の電話番号

チェックしたことのない人はぜひこの機会にやってみよう!





## 気づいたこと・考えたこと

-----

-----

-----

-----

-----

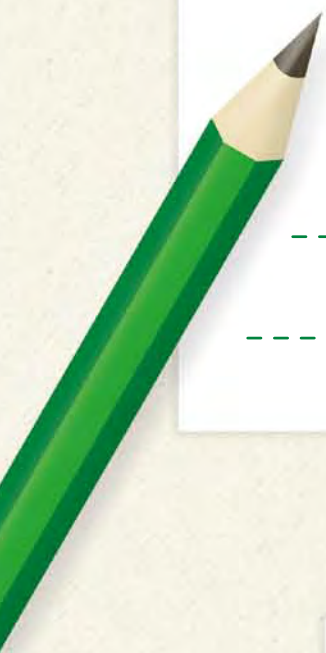
-----

-----

-----

-----

-----



学校名

年 組

氏 名

編集・発行 京都府砂防・治水・防災協会  
問い合わせ先 事務局 京都府建設交通部河川課、砂防課  
〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入  
電話：(075)414-5282・5311 FAX：(075)432-6312

